



偏差値・内申

学力目安			単願				併願			
			偏差値	内申			偏差値	内申		
				3科	5科	9科		3科	5科	9科
科 コース	普通科	α	65	13	22	39	66	13	22	39
		S	60	12	20	35	62	13	21	36
		特進	53	10	17	32	56	11	18	33
	保健体育科	50	9	16	28	55	10	17	30	

留意点

- (1) 北辰テストの7月から12月までの5回の偏差値で、3科または5科の2回平均を参考にします。
また、V模擬・W模擬・公的テスト・他については、持参した場合参考とさせていただきます。
※偏差値による学力目安を基本としますが、進路指導の経緯を尊重し、できるだけ受験生にとってプラスとなる判断をさせていただきます。
- (2) 欠席日数は、3年間で15日以内とします。ただし、今後の学校生活に支障がない証明がある場合にはこの限りではありません。(調査書記載または診断書添付等)
- (3) 9科5段階評定に、「1」がないこと。
- (4) 保健体育科は、3年間運動部に所属することが条件です。
- (5) 心身ともに健全で、生活信条等によって日常の授業や行事の活動に制限がないこととします。
- (6) 調査書は、公立高校提出用をA4サイズにコピーしたものを提出してください。
- (7) 複数受験の場合でも調査書は1通です。
- (8) 単願以外の入試でも、「単願入試」の意思表示が可能です。



偏差値加点

項目	内容	加 点	
		普通科	保健体育科
出席状況	3年間欠席0	+1	+1
生徒会活動	生徒会長	+2	
	副会長・書記・会計 および それに準ずる役職	+1	
検定	英検・漢検・数検 準2級以上	+2	
	英検・漢検・数検 3級以上	+1	
課外活動	県大会または関東大会出場	+2	
	各種コンクールで入賞や、その他の資格を有する	+1 (複数項目可)	
	3年間部活動に積極的に参加した ボランティア活動に積極的に参加している 本校を第一希望とし、強い就学の意思がある		

※普通科は単願・併願共通で最大加点は+2までとします。

※保健体育は単願のみで最大加点は+1までとします。

※兄弟・保護者が本校に在籍または卒業している場合には、個別に相談させていただきます。



■ α コースの進学先

国公立	東京大学	京都大学	鳥取大学 (医学部)	北海道大学	東北大学	大阪大学
	東京外国語大学	千葉大学	お茶の水女子大学	東京学芸大学	東京海洋大学	筑波大学
	埼玉大学	首都大学東京	新潟大学	電気通信大学	埼玉県立大学	他 多数
私立	早稲田大学	慶應義塾大学	上智大学	I C U	東京理科大学	明治大学
	青山学院大学	立教大学	中央大学	法政大学	学習院大学	他 多数

■ 論理的な頭脳を

α コースのコンセプトは、単に大学に合格させる高大接続のための過程として捉えるものではありません。まず基礎的な知識や技術を徹底的に定着させ、その知識・技能を活用して問題を解決する力を養うことに重点を置いています。

また、次期学習指導要領で育成を目指す資質・能力（知識・思考力・判断力・表現力）を育成します。

■ 国公立大学進学に沿ったカリキュラム

国立大学の入試科目は5教科7科目、不足になりがちな社会や理科の授業も確保し、難関大学の進学に備えます。

高校3年1学期末までに、高校のカリキュラムを終わらせるように授業が展開されます。その後、国公立二次試験対策、難関私立大学入試対策を行っていきます。当然、授業進度は速く、高いレベルでの授業が展開され、授業の予習・復習は必要不可欠。これによって、自立した学習への取り組みが学力を一層高めます。

当コースは入部できる部活動の制限はありません。学習と部活動の両立を果たすことが可能です。

2019年度より、α コースの中に、医学選択と難関選択を設置します。

医学選択

カリキュラムは理系と同様ですが、早朝と放課後に選択制による補講を行い、徹底した学力向上をめざします。また、「倫理観・使命感」、「責任的・確かな判断力と行動力」、「指導力と協調性」を養い、医師として必要な素養を育成します。

難関選択

全教科むらなく学習し、しっかり基礎を固めて難関国公立大学合格をめざします。1年次からキャリア教育を充実させて学習意欲を高め、2年次より文系・理系に分かれて主体的に学習する習慣を確立します。

■ 奨学生学力目安

<事前相談>

区分	偏差値		内申	内容	備考
単願	A	70以上	α コースの内申基準を全て満たし、原則1・2がないこと	入学金・授業料・施設設備拡充費・管理費 相当額 学業支援金 (優秀者)	継続条件 毎年度更新 区分の昇格、降格 ともにあり
	B	69以上		入学金・授業料・施設設備拡充費・管理費 相当額	
	C	68以上		入学金・授業料・施設設備拡充費 相当額	
併願	A	70以上		入学金・授業料・施設設備拡充費・管理費 相当額	
	B	69以上		入学金・授業料・施設設備拡充費 相当額	
	C	68以上		入学金・授業料 相当額	

- ・奨学制度の他、条件により就学支援金も受けることが可能。
- ・奨学生以外は、他のコースへの変更も可能。
- ・部活動の制限なし。